

しあん



施設長 佐野 毅

若き力に期待を込めて

今年度も、新たな介護スタッフが着任しました。とりわけ今年は、この春地元の高校を卒業したばかりのフレッシュさんが、介護スタッフとして仲間入りしてくれました。

一昨年も高校新卒者と、介護福祉専門学校新卒者の計2名の新卒者を、介護スタッフとして迎えました。今年度は2年振りの高卒ルーキーの着任です。

今、巷ではどこの介護施設も慢性的な「介護人材不足」に悩んでおります。とりわけ「若い人たちの介護人材不足」は深刻です。

我が国は、今まで誰も経験したことのない未曾有の「超高齢社会」を迎えることとなります。そうした中で、日本の将来を支えてくれる若い世代の人たちが、介護の担い手となって安心して働き続けられる「社会風土」を築いていくことは、私たち世代の責務であると思います。

ありがたいことに、紫苑荘では若い世代の介護スタッフをリードしてくれる先輩介護

考えています。

昨年、利用者様に「今一番したいことは何ですか?」とお伺いしてみました。「美味しいものを食べに行きたい」「買い物したい」「遠足に行きたい」等々、色々なご希望が出て参りました。今年度はそれを一つ一つ叶えて差し上げることが出来たらと、スタッフ全員で計画して行かれたらと考えております。

その際にはご家族の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じますので、宜しくお願いいたします。ご家族の皆様のご意見・ご要望等お聞かせいただければ幸いです。

(3階介護員一同)



2階便り

介護員 加藤真一

～新年度を迎えて～

新年度を迎え、木々は芽吹き、花は蕾から開花し、春のそよ風と共に暖かい便りが届く季節になりました。

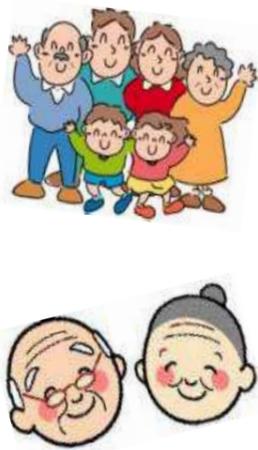
私は、望みの門紫苑荘で働き始めて、間もなく2年になります。介護の仕事は初めてで、

員さんたちが「働きながら勉強をして」国家資格(介護福祉士)や介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格を取得しよう、と向学心に燃えているスタッフが大勢います。昨年も、一昨年も何人ものスタッフが、介護福祉士や介護支援専門員(ケアマネージャー)の資格を取得しました。

若いスタッフも、そうした先輩たちの「後ろ姿」を見て、専門性の向上に励んでくれることでしょう。

「やってみて、言ってみて聞かせて、させてみて、褒めてやらねば人は動かじ」とは、(旧日本海軍連合艦隊司令長官)山本五十六氏の名言だと言われていますが、この名言は次代を担う若い世代の人たちを育てるうえで大変参考になる言葉だと思います。

新たに介護の世界に飛び込んでくれたスタッフと共に、そしてこれからも若きスタッフがどんどんこの世界に飛び込んでくれるように念じながら、共に利用者さんの笑顔溢れる職場づくりに励んでいきましょう。



戸惑う事ばかりでした。

しかし、優しく面倒見の良い先輩方ばかりで、厳しくもあり優しく指導して頂き、感謝の念で一杯です。

介護関係の資格はもとより介護経験の無い私は、ホームヘルパー2級の資格を取得する為に、この紫苑荘で働きながら、ホームヘルパー講習を受講しました。初めて目にした耳にしたりする専門用語ばかりで、日々勉強の連続です。解らない事が有れば、その都度先輩方に聞いて理解するように努力しました。

介護の仕事は、実に多岐に渡ります。食事介助・オムツ交換・入浴介助・口腔ケア・衣類着脱・体位交換・離床臥床・レクリエーション・記録(利用者様の様子観察)・利用者様とのコミュニケーション等々実に盛りだくさんです。

まだまだ至らない点は多々ありますが、利用者様が、「この紫苑荘を利用して良かった」と心から思っていただけ、安全・安心・快適な居住空間を提供しているように、粉骨砕身頑張っていく所存ですので、何卒よろしくお願い致します。

(2階介護員一同)



3階便り

介護主査 鳥海秀子

～笑顔の花咲く紫苑荘に～

昨年12月1日付けで紫苑荘に異動となり、早5ヶ月が過ぎようとしています。

職場の雰囲気にもようやく慣れ、利用者様のお顔とお名前が一致するようになり、利用者様お一人お一人の個性も見えてきたところです。まだまだ勉強不足ではありますが、笑顔の花が咲き乱れる紫苑荘を目指して努力していきたいと思っています。

ところで昨年「東京オリンピック招致」の際に「おもてなし」という言葉が使われ流行りました。

「おもてなし」・・・心地の良い言葉だと思いますが、それを実行するのはとても難しいと感じます。相手から頼まれたことをさせて頂くのは当たり前のこと。

「おもてなし」とは、相手が望んでいることを察して先んじてさせていたただいて「なぜ」と思うのです。とても高いハードルです。

一足飛びに越えることは至難の業です。なので、まずは利用者様の望んでいることをさせていただくことから始めて行かれればと

事務室便り

今年度の1階事務室スタッフを紹介いたします。

介護支援専門員(ケアマネ)多田なつ美・紫苑荘介護員として勤務していましたが、この春から介護支援専門員(ケアマネ)として1階事務室にて勤務いたします。業務は主に利用者様のケアプランに関することです。ケアプランに沿った介護サービスが適切に提供されているかどうかの進行管理を営み、ケアプランの検証・確認を行い必要に応じてケアプランの見直しを行います。

施設長 佐野毅

副施設長 平野吉広

相談員 渡辺由佳

事務員 矢城彩乃

以上4名は、今年度も変わらずお世話になります。

施設サービスに関する御意見、御不明点などございましたら、どうぞいつでも遠慮なく1階事務室スタッフにお申し付けくださいませ。

(1F事務室職員一同)



医務室便り

健康管理室長 千葉章貴



春の名物である桜も散り、今では葉桜となつてしまいいなしか寂しく感じております。1月から3月末までの期間で面会の制限をさせて頂きまして、ご家族の皆様には多大なご心配とご迷惑をお掛け致しました。体力や免疫力の低下している高齢の方々にとりまして、インフルエンザウイルスやノロウイルスの感染は重症化する傾向にあります。

ご家族の皆様のご理解とご協力で、今年はインフルエンザウイルス、ノロウイルス感染の発症はなく平穩に過ごせたことを心より感謝申し上げます。ただ、季節の変わり目である3月～4月に体調不良で入院された方が数名いらっしゃいました。

紫苑荘では春の遠足を企画しておりますが、遠足中の怪我や事故等がないよう看護師も同行いたします。梅雨の時期を迎えるにあたり、体調の変化をきたしやすい気候ですので健康管理には万全を尽くしてまいります。と思います。現在、紫苑荘では「誤嚥性肺炎」を予防す

の皆様ですが、この春をもちまして32年間の永きにわたるご奉仕を一旦終了されました。

「望みの門京葉後援会」様は、法人理事長がいらっしゃる西千葉教会をはじめ、松戸教会など千葉県内をはじめ全国各地のキリスト教会の皆様が「望みの門」の利用者様のために「ご物心画面から支援してください」というボランティア組織です。

これまでの紫苑荘におけるご奉仕に深く感謝いたしますと共にご奉仕くださいましたボランティアの皆様方の益々の御健康と御多幸をお祈りいたします。本当にありがとうございました。

なお引き続き「京葉後援会」の皆様方には、毎年恒例の「望みの門バザー」のお手伝いや、「児童養護施設望みの門かずさの里」の子どもたち、「望みの門方舟乳児園」の赤ちゃんたちの「絵本の読み聞かせ」などのボランティアにはいらしていただいております。今までのご奉仕に感謝いたしますと共に、今後共にごぞよろしくお願いいたします。

るために「口腔ケア(歯磨き、うがい)」に力を入れております。

「いつまでも笑顔で元気に長生きを！」を念頭に置き、「ご利用されている方々の健康管理に努めてまいります」と思っています。(看護職員一同)



厨房便り

調理員 緑川由紀江



毎日提供されている紫苑荘での食事ですが、お味の方はいかがでしょうか？

検食時の感想を拝見すると「美味しいー！」という感想をいただく調理した甲斐があります。逆に手厳しいご意見をいただいた時には、はガツカリ(結構凹みます)・・・。

でも、利用者さんの健康を考慮しながら季節を感じていただくこと、「行事食」を提供したり、「誕生食」ではいつもよりちょっと豪華な献立にしたりと、少しでも利用者の皆様に喜んでいただけるようにと、栄養士さんが献立を考え調理員たちが日々愛情込めて作っております。早いもので私が望みの門に入社して二年

新規配属職員紹介

新たな仲間が増えました

ごきげんようごへ願ひ致します。

3月1日付採用

介護員 市川博之さん

4月1日付採用

介護員 中根由美恵さん

介護員 大窪 優さん

4月1日付異動(転入)

(望みの門)デイサービスセンターから

介護員 増田すみよさん

(望みの門)学園から

用務員(非常勤) 土屋明子さん

(望みの門)新生舎から

用務員(非常勤) 山下裕佳理さん



新規採用職員や法人内部異動・転入者は皆さん「やる気」と「情熱」をもって紫苑荘に着任していただきました。ご活躍を大いに期待しています。

が経ちましたが、毎日時間に追われ反省と発見の連続です。調理場にも新しいメンバーが加わり、先輩という立場になりました。

合同厨房一丸となってこれからも皆さんに美味しい食事を提供していけるよう努力して行きたいと考えています。

余談ですが、合同厨房のスタッフには愉快な面々が揃っていて、笑いの絶えない楽しい職場です。入社当初、仕事が大変で「もう続かないかな!？」と悩んでいた私を支えてくれたのも合同厨房の皆さんでした。感謝です!



ボランティアコーナー

「望みの門京葉後援会」様へ

30年以上にわたるご奉仕に感謝!!

紫苑荘が出来て以来、毎月欠かさず利用者さんの「入浴」や「散髪」のお手伝いのご奉仕にいらしてくださいだった「京葉後援会」

編集後記

法人(望みの門)では、昨年4月に「訪問看護ステーション」の事業を開始しました。

ステーションの事務所は、紫苑荘1階の奥にあります。また、上総湊駅前には「児童家庭支援センター望みの門ピーターパンの家」を開設し、専門のカウンセラーや臨床心理士が常駐し、子育てに悩む保護者の方々や発達に不安を感じるお子さんの相談支援にあたっています。

また、富津市役所から業務の委託を受けて今年度から「富津地区地域包括支援センター」を開設しました。場所は、富津イオンシヤスコのすぐそばです。地域包括支援センターは、一人暮らしのお年寄りの生活の見守り、認知症高齢者の方に対する相談支援、また介護予防事業(高齢になっても、いつまでも元気で生活できるように)などの幅広い事業を受け持つこととなります。ご支援ご協力をよろしく願ひいたします。

社会福祉法人ミッドナイトミッションのぞみ会
特別養護老人ホーム 望みの門紫苑荘
千葉県富津市富津617の14
0439(87)5077
発行責任者 施設長 佐野 毅